

## 旧神戸ユニオン教会 生田町4丁目



1872（明治5）年、居留地の48番（現、明石町・東京三菱銀行神戸支店）に建てられたユニオン・チャーチが前身で、1903（明治36）年に神戸ユニオン教会と改称し、1929（昭和4）年にこの地に移った。設立者はD.C.グリーンで、設立当初から神戸の外国人のために建てられたもの。アメリカの宣教師グリーンは1869（明治2）年に布教のため来日し、翌年神戸にやって来る。グリーンは東京から日本語の教師として市川栄之助夫妻を連れてくるが、当時まだキリスト教を禁じていた明治政府は市川夫妻をキリシタンとして捕え、夫は獄死した。その獄死数日前に建てられたのがユニオン・チャーチである。

ユニオン教会は1989（平成元）年に灘区長峰台に新会堂を建てたため移転してしまった。移転後ももとの建物（1928年築のゴシック風、鉄筋コンクリート3階建てで、W.M.ヴォーリスの設計による）は解体されずに残り、阪神淡路大震災でも建物本体の被害はそれほどなく、元通りしっかりと建っていた。なお、1999（平成11）年9月には国の登録文化財に認定されている。

1999（平成11）年11月からは、外観をそのままに内部を改修して神戸の老舗製パン店の本店として使用されている。集会室だった1階はパンや洋菓子の売り場として、また、天井の高さ10mの礼拝堂だった2階はカフェに生まれ変わり、多くの客で賑わっている。

場所：神戸市中央区生田町4-6-15